取扱説明書

Bearmax

ペット・ドライヤー

商品型番：PD-111（ピー・ディー）

もくじ

安全上のご注意 …… 2,3
使用上のご注意 …… 3
ご使用の前に …… 4
主な製品仕様 …… 4
各部の名称とはたらき …… 5
基本的な操作 …… 6
お手入れについて …… 7
保証とアフターサービス …… 8

© 株式会社クマザキエイム

安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。

■注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。　「しなければならない行為」を示します。

警告

■電源コード・プラグを破損するようなことはしない
- 電源コードの上に重いものを乗せない。
- 途中でつぎ足したりなどの加工をしない。
- 無理に折り曲げない。
- 傷をつけない。
- ねじったり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。

※電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店、または総発売元に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■交流100V以外での使用はしない
コンセントや配線器具の定格を超えるような使い方はしないでください。
発熱による火災の原因になります。

■電源プラグの抜き差しで運転や停止をしない
発熱による火災や感電の原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

■傷んだ電源プラグは使用しない

■緩んだコンセントは使用しない

■発熱器具の近くに置かない
樹脂部分が溶けて、引火する原因になります。

■送風口・吸込口・すき間に指や異物を入れない
本体の故障、またはけが・感電の原因になります。

■子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない

■電源スイッチを入れたまま放置しない
火災の原因となります。

■引火性のもの（ベンジン、シンナー、スプレー、整髪料等）の近くで使用しない
爆発や火災の原因になります。

■直射日光・雨風の当たる場所で使用しない
加熱などにより、火災・感電の原因になります。

■修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造しない
発火したり異常動作して、けがをすることがあります。

■電源プラグをぬれた手で抜き差ししない
感電の原因になります。

■使用後は必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く

■異常時（こげ臭いなど）は運転を止めて、電源プラグを抜く
発熱などで火災・感電の原因になります。

■お手入れの際は、運転を止めて電源プラグを抜く
不意に作動して、けがをしたり、感電や事故の原因になります。

警告

■浴室で使用しない／水にぬらさない
本機をぬらさないようにご注意ください。
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、浴室・水辺・雨天の中など水がかかるような場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

■本体を水洗いしない
漏電して感電の原因になります。

■調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い場所や油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる
定期的に電源プラグを抜いて、プラグやコンセントの間に付着したほこり、よごれなどを取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起こり火災の原因となります。

■異常・故障時には直ちに使用を中止する
- 風が出ない
- 時々止まる
- 煙が出る

そのまま使用すると火災・感電・けがの原因となります。

注意

■直射日光・雨風の当たる場所で使用しない
加熱などにより、火災・感電の原因になります。

■駐車中の自動車内など、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。

■乳幼児への使用はしない
やけどの原因となります。

■フィルターは水洗いしない
火災や感電の原因となります。

■動作時に送風口にふれない
やけどの原因となります。

■送風口と毛髪は15cm以上はなす
近づけすぎると毛髪がこげる原因となります。

■電源プラグを抜くときはコードを持たずにプラグを持って抜く
コードがショートや断線して、火災・感電の原因になります。

■電源スイッチが「切」になっている事を確かめてから、電源プラグを抜き差しする
コードがショートや断線して、火災・感電の原因になります。

■床が水平で丈夫な場所で使用する
落下し、ケガ・故障の原因になります。

使用上のご注意

■業務用として使用しない／不特定多数の人が使用する場所に設置しない
本製品はご家庭での使用を想定して製造されています。上記の様に使用されますと、連続負荷による故障の原因になります。

ご使用の前に

このたびは Bearmax「ペット・ドライヤー｜PD-111」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

※箱を開けたら、以下の物が同梱されているか必ず確認して下さい。

■ペット・ドライヤー｜PD-111本体
■交換用抗菌フィルター × 2　　■取扱説明書（本紙）

主な製品仕様

定格入力		AC100V 50/60Hz
消費電力(最大)		1200W
風速(最大)		8m/秒
風量(最大)		100cfm
送風口	可変角度範囲	上下 60°（自動運転時）
	可変角度段階	5段階（手動）
送風温度(約)	温モード時	50℃
	冷モード時	動作環境の温度に準ずる
最大外形寸法(約)		幅：240 × 高：280 × 奥：260mm
質量(約)		2.8kg
本体色		パール・ホワイト × ダーク・シルバー
本体材質		難燃性ABS樹脂
		ABS樹脂
		ポリカーボネート樹脂
付属品		交換用抗菌フィルター × 2
		取扱説明書
個装箱寸法(約)		幅：305 × 高：315 × 奥：270mm
個装箱質量(約)		3.5kg

※商品の仕様および外観は性能改善のため、予告なく変更する場合がございます。

各部の名称とはたらき

送風口
運転時に風を送ります。
送風方向は、手動で5段階、自動で上下に約60°可変します。

ハンドル
持ち運び時の取っ手として使用します。

フィルターカバー
運転時に外気の吸込口になります。
抗菌フィルター設置時のカバーとしてのはたらきもあります。
詳細は 7ページ →

操作パネル
本機を操作する際のボタンが配置されています。
詳細は 6ページ →

電源コード
使用時にコンセントに挿入します。

基本的な操作

本機は本体前面の操作パネルに配置されたボタンで各機能を操作します。

電源入／切ボタン：電源の入／切を行います。ボタンを押すと電源が入り同時にLEDが赤く点灯します。もう一度ボタンを押すと、LEDが3秒間点滅した後消灯し、同時に電源が切れます。

一時停止ボタン：運転中にボタンを押すと動作が一時停止し、同時にLEDが赤く点灯します。一時停止中にもう一度ボタンを押すと、LEDが消灯し、同時に再び作動します。

スイングボタン：運転中にボタンを押すと送風口が上下に動き出し、同時にLEDが赤く点灯します。もう一度ボタンを押すと、LEDが消灯し、同時に上下の動きが止まります。

風量切替ボタン：風量の強弱を切替えます。電源を入れた時は常に「弱モード（LEDが緑に点灯）」に設定されています。運転中にボタンを押すと「強モード（LEDが赤に点灯）」で動作します。ボタンを押すたびに強／弱が切替ります。
※弱風・冷風モードで温度ボタンを押すと強風になり、温風に変わります。
※冷風モードのみ強風・弱風の選択が可能です。

風温切替ボタン：冷風／温風を切替えます。電源を入れた時は常に「冷モード（LEDが緑に点灯）」に設定されています。運転中にボタンを押すと「温モード（LEDが赤に点灯）」で動作します。「温モード」にすると、風量は自動的に「強モード」に切替ります。ボタンを押すたびに冷／温が切替ります。
※温風機能は強風モードのみ選択が可能です。

【自動電源オフ機能について】連続使用によるモーターの加熱防止のため、電源を入れてから30分間連続運転した場合、10秒間LEDが点滅した後自動的に電源が切れます。電源を入れると再度使用出来ますが、長時間の使用はモーターの寿命を短くする恐れがありますので1時間以上時間をおいてご使用ください。

お手入れについて

■本体のお手入れ

ぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を、固くしぼって汚れを拭き取り、から拭きをしてください。

※お願い
- 本体に直接水をかけないでください。絶縁劣化、さび、感電の恐れがあります。
- アルカリ洗剤、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変形、変色の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- 保管の際は、水平で安定した場所に、本体を立てて保管してください。傾けたり寝かせたりすると、本体故障の原因になります。

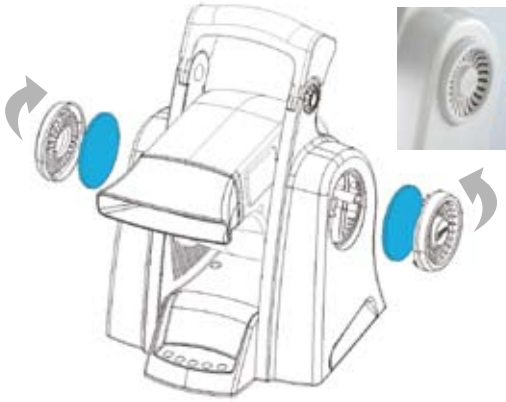
■長時間使用しないとき

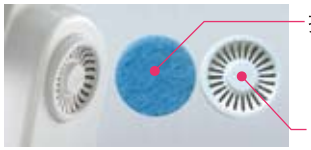
湿気の少ない風通しのよい場所に保管する。

■抗菌フィルターのお手入れ

抗菌フィルターは６ヶ月（毎日30分使用時）を目安に交換してください。

【フィルターの交換方法】
①フィルターカバーを時計の反対方向に回して外します。
②古いフィルターを取り外し、新しいフィルターをセットします。
③フィルターカバーを時計回りに回して固定します。





交換用フィルターのお求めは
●直販サイト：http://www.bearmax.jp/
●お電話：045-473-0002
●ＦＡＸ：045-473-5199
株式会社クマザキエイムまで

※フィルター交換のとき以外はフィルターカバーを開けないでください。
※フィルター交換のときは電源コードをコンセントから外して交換してください。